

トヨタ自動車東日本発足

国内第3の生産拠点

小型車に特化し一貫生産

関東自動車工業、セントラル自動車、トヨタ自動車東北が合併し、7月1日付で新会社「トヨタ自動車東日本（宮城県大衡村）」が発足した。東北地域に生産拠点を持つトヨタグループ3社の合併で東北を中部、九州に続く国内第3の生産拠点を位置付け、小型車に特化してエンジンから車両まで一貫生産する。車両の企画から開発、調達、海外展開まで一貫し、小型車分野でトヨタの世界戦略の一翼を担う専門メーカーとして成長を目指す。

「将来に向けて自分たちでできることはすべてやりきる気概で決断した。豊田章男トヨタ社長は2011年7月の会見で、車体メーカー再編に力を入れる意気込みを強調した。」

再編は一両階で実施した。まず12年1月トヨタ車体と関東自動車とトヨタの完全子会社とした。続いて関東自動車が宮城県で小型車を生産するセントラル、同県に工場を持つトヨタ東北と合併した。「各社が得意とするモデルを一貫生産して競争力を強化し、中部、九州、東北の3極体制を築く」（豊田社長）。地域・車種ごとの分業体制を明確にし、グループの競争力を高めることが狙いだ。



岩手工場ではアクアなどを生産する

「これまで車体メーカーは一部で開発や海外展開を手がけていたが、トヨタ全体の国内生産を補完する役割が色濃かった。国内生産が右肩上がりの時代は、トヨタの生産能力向上に強みを発揮したが、国内生産が減少するにつれ、その役割の意味が薄れてきた感がある。そこで導き出した解が、車体メーカーの実力を一段と高め、独立して戦える完成車メーカーに育成することだった。」

車体メーカーの実力を高めれば「小さいトヨタがたっさんある」という仕組みが、国内でもできる

リーマン・ショック後のトヨタの経営手法は、世界各地域の事業体に責任と権限を委譲して、小さいトヨタを作り、日本では大きな方向性を示す。実行は各地域で自ら判断することで市場の変化に迅速に対応し、規模とスピードを両立した成長を志向する。トヨタは車体メーカーの再編を通じて、国内でも同じ手法を実践しようとしている。分業体制は地域だけでなく、車種でも明確にしている。トヨタ東日本は東北で小型車、トヨタ車体は中部で商用車とミニバン、スポーツ多目的車

グループの競争力強化へ 地域・車種ごとの分業明確化



小型車の企画・開発から調達、海外展開まで各機能の強化が課題（トヨタ東日本で生産する新型カローラ）

には「東北現調化センター」を本社に設置した。同センターはトヨタの調達部門の20人程度で構成する。

今までの部品調達の権限はトヨタの調達本部にあったが、これからは同センターが中心となる。

（宮城県大衡村）、岩手工場（岩手県金ケ崎町）、東宮工場（車両3工場）に加え、12年度内に宮城県大衡町で、岩手工場で生産する小型ハイブリッド車（日V）用のエンジンの組み付けを始める予定。今後は製造や機械加工などの工程も追加して、競争力を高める。

海外についてはラジアルでプレス部品、タイヤを製造している。将来は車両でもグローバル展開してほしい」とトヨタ幹部が寄せる期待も大きい。

今後はいずれの生産車種のアップグレードについても、トヨタの設計本部が手がけている。これまでは自社で生産する車種も、トヨタ本体の開発部門と調整して、設計業務を受託していた。トヨタの開発部門に設計者を派遣する場合もあった。

次世代環境技術の開発領域の肥大化や世界市場の多様化で、自動車メーカーは新たな対応が求められている。トヨタは車体メーカーに完成車メーカーの役割を持たせ、本体の負担を軽減しつつ、グループ全体のグローバル競争力につなげる。



豊田章男トヨタ社長（左から3人目）は会見で車体メーカー再編に力を入れる意気込みを強調

「地域と一体になって競争力のある小型車を生産したい」（白根武史トヨタ東日本社長）。1月

時代のニーズに即応した
岩機の製品

アルミ・亜鉛 ダイカスト製品
鉄・ステンレス モルダロイ製品（MIM）
試作金型 粉末焼結積層造形金型システム

岩機ダイカスト工業株式会社

〒989-2204 宮城県亶理郡山元町麓字山崎51の2
Eメール info@iwakide.co.jp
TEL (0223) 37-3322代 FAX (0223) 37-3720
ホームページ <http://www.iwakide.co.jp/>

最新鋭設備と確かな技術力で
難易度の高い試作・開発品等、
貴社のニーズにお応えします

- 産業用省力化機械設置・治具等の設計・製作
- 精密機械部品製造●精密プレス・モールド金型の設計・製作
- 精密金型部品製造●精密プラスチック成型加工

KYOYU
キョウユ株式会社

本社/〒987-0006 宮城県亶理郡美里町関根字新苗代149-1
TEL 0229-34-2322代 FAX 0229-34-1965
URL <http://www.kyoyu.jp> E-mail info@kyoyu.jp

SATORICK 「人と自然の笑顔をつくる」
東北電子工業(株)グループ
樹脂成形・挽物加工・モールド金型・製品開発・生産設備一貫生産

東北電子工業(株) 代表取締役会長 佐藤幸太郎 代表取締役社長 渡邊 篤
管理統括本部 〒987-1103 宮城県石巻市北村字俣庭五18 TEL0225-86-6007代
本社 工場 〒986-0103 宮城県石巻市中島字新石湊71 TEL0225-62-3474
河北工場 〒986-0102 宮城県石巻市成田字小塚45 TEL0225-62-3406
桃生工場 〒986-0312 宮城県石巻市林生町城内字東峰327 TEL0225-76-5038
河南工場 〒986-1111 宮城県石巻市鹿又字谷地中裏196 TEL0225-74-2282
北村工場 〒987-1103 宮城県石巻市北村字俣庭五12 TEL0225-73-5650

㈱モリス 代表取締役社長 渡邊 篤
〒986-0103 宮城県石巻市中島字新石湊71 TEL0225-62-3391代
<http://www.satorick.co.jp/>

お客様からの信頼を進化させ
次なる成長を目指して
まいります。

SHIROKI シロキ工業株式会社

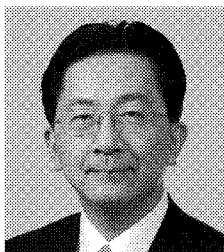
〒442-8501 愛知県豊川市千両町下野市場35-1
TEL 0533(84)4681(代) <http://www.shiroki.co.jp/>

祝・トヨタ自動車東日本設立

とうほく自動車産業集積連携会議

とうほくから世界へ！

とうほく自動車産業集積連携会議
代表幹事
岩手県知事 達増 拓也



「トヨタ自動車東日本株式会社」の設立を、心からお祝い申し上げます。

東北では、トヨタグループにおける国内第3の拠点方針の表明から、自動車部品メーカーが相次いで進出するなど、自動車産業集積の動きが加速しております。東北地域の地場企業もこのような動きに応えるべく、競争力・開発機能の強化を図りながら、地域が一体となったモノづくりに取り組んでおり、東日本大震災からの復興の大きな原動力ともなっております。

東北は、「コンパクト車づくりの戦略的拠点」「地域完結型・災害に強い拠点形成」「国内の自動車生産を守る試金石」となることを目指しております。国際競争力のある、魅力あるコンパクト車を世界に送り出していくため、今後も、東北6県の連携を密にし、「人材育成」「地場企業の発掘・育成」「新技術開発」など自動車産業振興に全力を挙げて取り組んでまいります。

皆様の一層のご支援をよろしくお願い申し上げます。

●概 要
設立 平成18年7月14日（平成19年5月30日6県に拡大）
狙い 産学官が連携して、地域企業の技術力向上による自動車関連産業への進出や取引拡大、自動車部品メーカー等の立地の促進など、自動車関連産業の集積に向けた取り組みを推進し、「東北を自動車関連産業の一大集積拠点とすること」

●豊富な人材、厚みのある産業基盤
多彩な基盤技術の集積地域
●電子部品、デバイス、情報通信関連機器、機械加工、鋳物などの多彩な基盤技術が集積

●技能系・技術系
人材が豊富
●大学（理工系）、専専などから毎年約8000人の優秀なもののづくり人材を輩出
●専科の設置等による専門教育の充実

●高度技術者
育成機関の設置
●3次元設計技術者：いわてデジタルエンジニア育成センター（岩手）
●カーエレクトロニクス技術者：カーインテリジェント人材育成センター（宮城）など

●6県共同
人材養成事業を展開
●設計技術、基盤技術、生産改善、IT分野等の人材育成プログラムを共通化し、東北地域全体で広域的に実施

●産学官連携による
数多くの研究実績
●東北大（MEMS等、先端技術の研究開発拠点）
●岩手大（高機能鋳鉄、トリアジンチオール）
●山形大（軽量・高強度部材）など

とうほく自動車産業集積連携会議の主な取組み

情報の提供・共有	交流機会の創出・セミナー	技術展示商談会の開催
取引拡大の支援	研究開発の促進	人材の育成・確保
		トップセールス

●「新・とうほく自動車関連産業振興ビジョン」（平成22年6月策定）
「とうほく」は優れたもののづくり人材の育成と、次世代技術の研究開発などを進め、コンパクトカーやハイブリッドカーなどの環境対応自動車の開発・生産拠点を目指します。

●五つの戦略

戦略Ⅰ 人材の育成・供給拠点
産学官連携の下、優秀なもののづくり人材や高度技術者が活躍する地域を目指します。

戦略Ⅱ 幅広い分野の企業集積
地域企業の参入や進出企業の地域定着の促進により、部品生産から自動車の組立てまで域内完結できる地域を目指します。

戦略Ⅲ 次世代技術の開発拠点
最先端技術シーズの創出と地域企業の参画により、次世代自動車技術を開発できる地域を目指します。

戦略Ⅳ 高品質・高機能部品の戦略拠点
高度・高品質の部品生産、自動車組立てができる自動車産業のモデル地域を目指します。

戦略Ⅴ 世界に向けた完成車・部品供給基地
コンパクトカーやハイブリッドカーなどの環境対応自動車の開発・生産拠点として、世界への完成車・部品供給基地を目指します。

●全体目標（目標年次：平成25年）
○自動車関連企業 1300事業所 ○輸送用機械の出荷額 2兆円
○自動車関連企業 1300事業所 ○輸送用機械の出荷額 2兆円
平成24年3月末：1,141社 平成22年度工業統計：1.2兆円

MADE BY TOHOKUを
日本へ、世界へ

平成24年5月31日現在

青森県自動車関連産業振興協議会
（平成18年9月25日設立 130会員）
青森県商工労働部地域産業課
TEL 017-734-9376
FAX 017-734-8109
<http://www.pref.aomori.lg.jp/>

いわて自動車関連産業集積促進協議会
（平成18年6月7日設立 287会員）
岩手県商工労働部科学・ものづくり振興課
TEL 019-629-5551
FAX 019-629-5549
<http://www.pref.iwate.jp/>

あきた自動車関連産業振興協議会
（平成18年11月1日設立 150会員）
秋田県産業労働部地域産業振興課
TEL 018-860-2242
FAX 018-860-3887
<http://www.pref.akita.lg.jp/>

みやぎ自動車産業振興協議会
（平成18年5月11日設立 496会員）
宮城県経済商工観光部自動車産業振興室
TEL 022-211-2724
FAX 022-211-2729
<http://www.pref.miyagi.jp/>

山形県自動車産業振興会議
（平成18年5月18日設立 224会員）
山形県商工労働部科学・ものづくり振興課
TEL 023-630-2369
FAX 023-630-2695
<http://www.pref.yamagata.jp/>

福島県輸送用機械関連産業協議会
（平成19年4月25日設立 368会員）
福島県商工労働部企業立地課
TEL 024-521-7280
FAX 024-521-7935
<http://www.pref.fukushima.jp/>

とうほく6県 自動車関連技術展示商談会

平成25年1月24日(木)、25日(金) ○会場/刈谷市産業振興センター「あいおいホール」(愛知県刈谷市)

がんばろう！東北 ～私たちは東北地域の自動車関連産業の一大集積拠点を支援します！～

<http://www5.pref.iwate.jp/~hp0405/tohokucar/>

とうほく自動車産業集積連携会議 事務局

岩手県 商工労働観光部 科学・ものづくり振興課 ものづくり振興担当
〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10-1 E-mail: ab0005@pref.iwate.jp
TEL: 019-629-5551～5553 FAX: 019-629-5549